

厚生労働科学研究費補助金（難治性疾患等政策研究事業（難治性疾患政策研究事業））
分担研究報告書

自己免疫性出血症治療の「均てん化」のための実態調査と「総合的」診療指針の作成
に関する研究

分担研究課題 調査と実験の実施（主に VIII/8 因子抗体症例）：
相談と研究的精密検査（主に F8）

研究分担者 橋口 照人 鹿児島大学大学院医歯学総合研究科 教授

研究要旨

自己免疫性出血症の検査データの解釈について、止血血栓領域を専門としない医師に対してコンサルトを行い、診断の効率を高めることを目的とした。肝予備能の低下した症例、慢性の播種性血管内凝固症候群の症例では、後天性に凝固因子が低下することより、自己免疫性出血症との鑑別を要する患者は実臨床において多く存在するので注意が必要である。

A．研究目的

自己免疫性出血症の検査データの解釈について、止血血栓領域を専門としない医師に対してコンサルトを行い、診断の効率を高めることを目的とした。

B．研究方法

APTT の延長した症例ならびに後天性の出血傾向を示す症例のクロスミキシングテストを含む一般臨床での凝固検査データのコンサルトを行った。

（倫理面への配慮）

当院の院内倫理委員会より研究実施の承認を得た。

C．研究結果

肝予備能の低下した症例、慢性の播種性血管内凝固症候群の症例では、後天性に凝固因子が低下することより、自己免疫性出血症との鑑別を要する症例は実臨床において多数存在することを報告した。

D．考察

実臨床においては、自己免疫性出血症との鑑別を要する症例が多数存在することから、自己免疫性出血症患者の血液中の抗体を検出する診断キットの普及が望まれる。

E．結論

止血血栓領域を専門としない一般臨床医に対して、自己免疫性出血症の存在と凝固検査データの

解釈について更に周知する活動を継続する必要がある。

F．健康危険情報

特になし

G．研究発表

1. 論文発表

- 1) 原著
なし
- 2) 総説・著書
なし

. 学会発表

1) シンポジウムの企画

第 81 回 日本血液学会学術集会（2019.10.11-13 東京国際フォーラム）

凝固因子インヒビター

座長 橋口照人、朝倉英策

1. 出血性後天性凝固異常症の診断
鈴木伸明
2. 後天性血友病 A～診断と治療～
徳川多津子
3. 後天性第 V 因子インヒビター
山田真也、朝倉英策
4. 自己免疫性後天性凝固第 XIII/13 因子欠乏症
小川孔幸
5. 後天性フォンヴィレブランド症候群について
早川正樹

2) 一般演題

1. 中島 篤人、山口 宗一、吉村 明子、古城 剛、

小濱 祐行、竹之内 和則、大山 陽子、政元 い
ずみ、高嶋 博、橋口 照人：親子間で病型の
異なるフォン・ヴィレブランド病の一家系。
第 41 回 日本血栓止血学会学術集会，三重
県総合文化センター；2019年6月20日～22日

なし

2). 実用新案登録

なし

3). その他

なし

H . 知的財産権の出願・登録状況

1). 特許取得

令和2年3月23日

国立保健医療科学院長 殿

機関名 国立大学法人鹿児島大学
 所属研究機関長 職名 学長
 氏名 佐野 輝 印

次の職員の令和元年度厚生労働科学研究費の調査研究における、倫理審査状況及び利益相反等の管理については以下のとおりです。

1. 研究事業名 難治性疾患政策研究事業
2. 研究課題名 自己免疫性出血症治療の「均てん化」のための実態調査と「総合的」診療指針の作成
3. 研究者名 (所属部局・職名) 鹿児島大学大学院歯学総合研究科 血管代謝病態解析学分野・教授
 (氏名・フリガナ) 橋口照人・ハシグチ テルト

4. 倫理審査の状況

	該当性の有無		左記で該当がある場合のみ記入 (※1)		
	有	無	審査済み	審査した機関	未審査 (※2)
ヒトゲノム・遺伝子解析研究に関する倫理指針	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>
遺伝子治療等臨床研究に関する指針	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>
人を対象とする医学系研究に関する倫理指針 (※3)	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	鹿児島大学大学院歯学総合研究科 疫学研究等倫理委員会	<input type="checkbox"/>
厚生労働省の所管する実施機関における動物実験等の実施に関する基本指針	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>
その他、該当する倫理指針があれば記入すること (指針の名称:)	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>

(※1) 当該研究者が当該研究を実施するに当たり遵守すべき倫理指針に関する倫理委員会の審査が済んでいる場合は、「審査済み」にチェックし一部若しくは全部の審査が完了していない場合は、「未審査」にチェックすること。

その他 (特記事項)

(※2) 未審査の場合は、その理由を記載すること。

(※3) 発生前の「疫学研究に関する倫理指針」や「臨床研究に関する倫理指針」に準拠する場合は、当該項目に記入すること。

5. 厚生労働分野の研究活動における不正行為への対応について

研究倫理教育の受講状況	受講 <input checked="" type="checkbox"/> 未受講 <input type="checkbox"/>
-------------	---

6. 利益相反の管理

当研究機関におけるCOIの管理に関する規定の策定	有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> (無の場合はその理由:)
当研究機関におけるCOI委員会設置の有無	有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> (無の場合は委託先機関:)
当研究に係るCOIについての報告・審査の有無	有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> (無の場合はその理由:)
当研究に係るCOIについての指導・管理の有無	有 <input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> (有の場合はその内容:)

(留意事項) ・該当する□にチェックを入れること。
 ・分担研究者の所属する機関の長も作成すること。